

1-1=3以上になる演算チャート

FXを始めとするマーケットで目にすることが多いのは、その瞬間に取引されている「スポット価格」がほとんどです。一方でプロのトレーダーは、演算で異なる銘柄同士を比較してスポットとは別の動きを追うことがあります。

そこで当記事では、TradingView の演算チャート機能を使うことで、スポット価格だけでは見えないチャートを生成する方法を紹介してみたいと思います。

【原油のスプレッドを表示してみる】

個人で取引する方の対象も多様になり、最近では原油やゴールドへの取り組みも始める方が増えてきていると聞きます。

原油価格の中で、よく耳にする銘柄に WTI(ウェスト・テキサス・インターメディアイト)、ブレント(北海油田)があります。それでは、早速それらのスポット銘柄を単独で表示してみましょう。



はい、似たチャートが2つ並び、いまから間違い探しでも始まりそうですね。それでは、さっそく演算機能に登場してもらいます。TradingView 銘柄欄に以下の数式を入力してみましょう。

USOIL-UKOIL

この数式は、「WTI スポット価格からブレン트의スポット価格を引いた差を表示しろ」というコマンドになります。すると各ローソクの OHLC(寄付・高値・安値・終値)の差をすべて計算してチャートに表示をしてくれます。たとえば以下の様な図です。



右軸を見ると、\$-2.10 などと表示をされており、確かにブレントと WTI との値差が表示されていることがわかります。何文字かをパチパチ入力するだけで表示されるので、とても簡単ですね。

なんとなくサラッと書いていますが、実はこれだけで原油の取引チャンスを作り出すことさえできる機能です。事例のチャートには、0レベルをハイライトしていますが、そのポイントで常に反落をしていることが分かります。



これだけ明確な反応が出ている様子を見ると、見逃すわけにはいかないと思う方が増えても自然ではないかもしれませんね。

【チャートを上下反転させてみる】

この演算機能はちょっとした目先を変えてみることに活用できます。その代表例がこちら…上下反転です。

たとえば、買いは得意なのに売りは苦手という方もいらっしゃるでしょう。もしその理由が「慣れ」なのであれば、チャートを上下反転させてやれば解決をするかもしれません。

たとえばドル円の30分足チャートを普通に表示するとこちらです。



これを反転させるコマンドは、「1/」を銘柄の前に入力することです。いわゆる逆数というもののなのですが、面倒なことはさておき反転させてみましょう。使ったコマンドはこちら。

1/USDJPY*100

すると下のようなチャートが現れます。余談ですが、通貨先物を取引している方にとっては、こちらの JPY が前に来る方が馴染み深いかもしれません。



どうでしょう？仮に「売り」が得意な人は、下側のチャートを見たほうが頭打ちになっていることから売り玉を立てる方に有利さを感じるかもしれません。一方で「買い」が得意な人であれば、上のチャートがダブルボトムに近い形を見せていることに興味をもつかもしれません。

私たちは人と会うときに、似た兄弟でもちょっとした違いで見分けることができる能力を生まれながらにして持っています。ところが、顔写真を反転した上で、目を左右反対にしたりしても、意外と違いに気づかなかつたりします。

また天橋立を訪問した方なら、股の間から逆さに景色を覗き、海が空から降ってきているような感覚に新鮮さを覚えた方もいるかもしれません。

同じようにチャートも上下反転させることで新しく見えるチャンスがあるなら、試さない手は無いかもしれませんね。

【無料プレゼント | 原油の取引にスプレッドを使う方法】

オイル取引をされる方のために、スプレッド取引の基礎講義(7分28秒の高解像度ビデオ)を11月末までの期間限定で無料公開しています。以下の URL からメールアドレスだけで申し込みができますので、今すぐご覧になってみてくださいね。

プロが教える原油トレード | 裏側で起こっている値動きを可視化する方法とは？

<http://extra.cocosta.jp/spread>



プロフィール

佐々木徹(ささきとおる)。欧米式のトレード方法を紹介する「ココスタ」運営責任者であり、現役トレーダー、起業家、マーケティング・ストラテジストでもある。米国テクニカルアナリスト協会公認資格 CMT 検定 1 級を保持。2100 名を超える受講生をもち、2014 年にはユーデミー(ベネッセ社運営)で日本人初のトップ 15 講師入り。株式会社ファム代表取締役。

ココスタ | cocosta.jp